JP-U-S63-44522

TITLE OF THE INVENTION

Filter Circuit

5

20

What is claimed is:

- 1. An integrated circuit filter capable of variable cutoff frequency, comprising:
- N (where N \geq 2) resistor circuits, connected in parallel each other, each comprising a switching circuit including at least a bipolar transistor; and a resistance element being connected in series with the switching circuit, wherein
- a capacitance element, which is grounded in an alternating way, is commonly connected to the N resistor circuits,

the capacitance element is a component connected with the integrated circuit externally by way of an external pin.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

19日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出顧公開

□ 公開実用新案公報(U) 昭63-44522

@Int_Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和63年(1988)3月25日

H 03 H 7/06

7328-5J

審査請求 未請求 (全 頁)

図考案の名称

フイルタ回路

②実 顧 昭61-136107

顧 昭61(1986)9月6日 修正

重 雄

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

切出 願 人 日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番1号

30代 理 人 弁理士 芦田 外2名

1. 考案の名称

フィルタ回路

2. 実用新案登録請求の範囲

- 2. 実用新案登録請求の範囲第1項記載のフィルタ回路をM個(M≥2の整数)縦続接続することを特徴とするしゃ断周波数切換え可能なフィルタ回路。

 $(1) \qquad 245$

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はフィルタ回路に関し、特に集積化に適したしゃ断周波数の切換えが可能なフィルタ回路に関する。

〔従来の技術〕

外部制御信号を用いてしゃ断周波数の切換えを可能としたフィルタ回路は種々提案されている。 SCF (Switched Capacitor Filter)回路においては,そのクロック周波数を変更する事でしゃ断特性を変更する事が可能であり,集積化も容易である。

〔考案が解決しようとする問題点〕

上述したフィルタ回路において、SCF 回路を使 うのは非常に有利であるが、クロック信号を使用 するため、フィルタの前後に時間的に連続をフィルタの前後に時間がする必要をフィルタをしゃ断する必要合に は、この前後のフィルタを加えても余りをは 性があるが、比較的ゆるやかなしゃ断特性でも



い場合には、回路の効率が悪くなる。また、特に 周囲の回路がアナログ系で小信号をあつかっている場合、クロック信号の高調波分の放射も無視できなくなり、不利になるという欠点がある。更に、SCF回路は、一般的にはCMOS プロセスを使用するため、低電圧(例えば1V)での動作は困難である。そのため、もしようと電池1本で動作する装置にSCF回路を採用しようとするならば、昇圧回路が必要となり、これも装置の小型化、価格低減化対して大きな欠点となる。

[問題点を解決するための手段]

本考案は、しゃ断周波数切換え可能な集積化フィルタ回路において、少なくともベイポーラチグのはされるスイッチを含む素子で構成されるスイッチが開放された抵抗された抵抗された抵抗された。 とを持つの接続回路には交流的に接続といるを登り、これらの接続回路には交流的に接続される容量素子を共通部品として接続し、しかも該容量素子は集積化回路から外部ピンを介して外付部品としたとを特徴とする。

247

〔寒施例〕

次に,本考案について,図面を参照して説明する。

第1図は本考案の一実施例のプロック図である。 11は入力端子・12・13は少なくともバイポーラ・トランジスタを含んだ素子で構成された電気的に制御可能なスイッチ回路・14・15はそれぞれ抵抗値 R₁ ・R₂ の抵抗素子・16は容量値 C の容量素子・17は出力端子である。18,19は制御信号用入力端子で、これらの入力は相補的なものとなる。110は外部ピンである。

今・スイッチ12をオン・スイッチ13をオフとすれば・本回路のしゃ断角周波数は1/R₁Cで決定され・逆にスイッチ12をオフ、スイッチ13をオンとすれば・しゃ断角周波数は1/R₂Cで決定される。とこで・容量素子16以外のAで囲まれた部分はICチップ上で構成し、容量素子16は外付部品とする。

一般に・I C チップ上で構成する部品の特性の 絶対値のバラツキは比較的大きくなるが。相対誤 差は非常に少なくできる。従って、しゃ断周波数の絶対値を外付部品の容量値Cで設定すれば、しゃ断周波数の相対値は製造バラッキに依らず、一定に保たれる。また、外付の容量素子16の片側は接地であるから、IC内部から外部へのピン数は1次のフィルタ当り、1個で済む。

第2図は第1図のスイッチ回路の一実施例である。入力端子11、出力端子17、制御端子18がそれぞれ第1図の同一番号部分に対応している。24~28のNPNトランジスタ。29~211のPNPトランジスタによりボルテージ・フォロア回路を構成する。また、NPNトランジスタ213・ 位流制限用抵抗素子214により、バイアス用の定電流源212をスイッチする。バイポーラ・トランジスタを使用した第2図の様な回路であれば、電源電圧1V程度でも充分動作するものが実現できる。

第 3 図は本考案の別の実施例を示す。 3 1 は入力端子、 3 2 ~ 3 5 は少なくともバイポーラ・トランシスタを含んだ素子で構成された電気的に制(5) 249

御可能なスイッチ回路・36~39は抵抗値がR1・R2・・・Rnの抵抗素子・310は容量値での容量素子・311は制御信号入力端子・312は出力端子・313は外部ピンであり・Bで囲まれた部分はICチップ上に実現し・容量素子310を外付部品とする。本実施例ではR1C・R2C・・・・RnCの値によって決まるn種類のしゃ断問波数を切り換えるようにしたものであり・この場合でも・外部ピン数および外付部品数は各々1個でよい。

第4図は本考案のさらに別の実施例を示したものである。41は入力端子・42~45は少なくともベイポーラ・トランジスタを含んだ素子で構成される電気的に制御可能なスイッチ回路・46、47は抵抗値 R1の抵抗素子・48・49は抵抗値 R2の抵抗素子・410・411は容量値 C の容量素子・412は制御信号入力端子・413は出力端子・414・415は外部ピンであり、Dで囲まれた部分は I C チップ上に実現し、容量素子 410・411を外付部品とする。本実施例の場合・2次のフィルタ特性を得るため・外付部品、外部ピンは各々2



個となる。

〔考案の効果〕

以上説明したように本考案は、受動CRフィルタの1つの素子値を少なくともバイポーラ・トランタを含んだ素子で構成された電気的に制御可能なスイッチにより切換える事により、集積化した場合、外付部品が少なく、外部ピン数が少なく、かつ低電圧(例えば1V)で動作し、周波数切換え可能な簡易型フィルタを構成する事ができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例のプロック図・第2 図は本考案で使用するスイッチ回路の一実施例の 回路図・第3図は本考案の別の実施例のプロック 図・第4図は本考案のさらに別の実施例のプロック ク図である。

12,13.32.33.34.35.42.43.43.44.45… 電気的に制御可能なスイッチ回路.18,19,23,311.412…制御信号

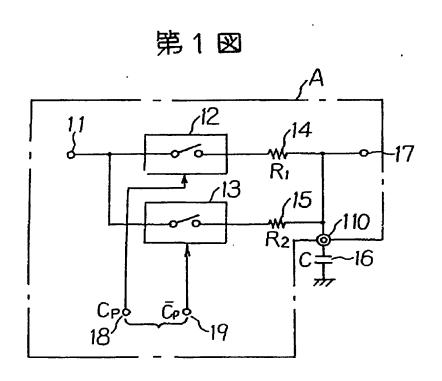
(7)

251

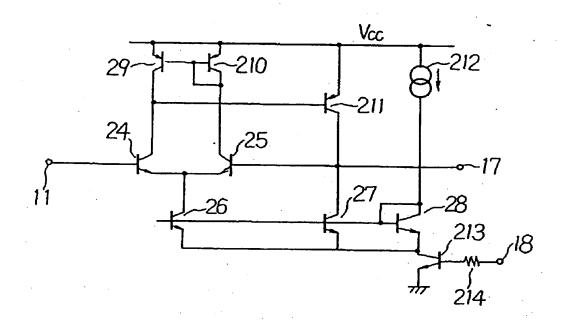
入力端子,110,313,414,415…外部ピン。

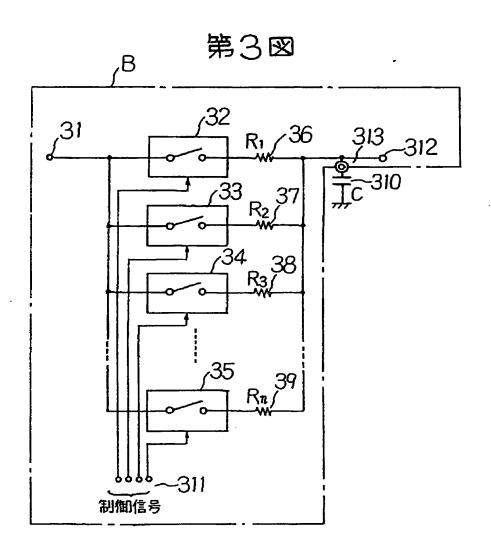
^{找理人 (7783)} 弁理士 池 田 憲 保





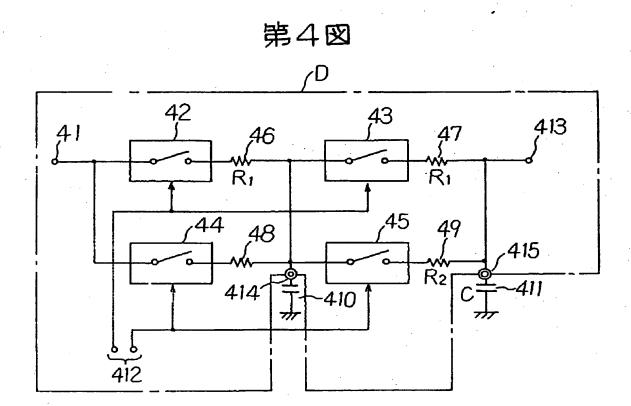
第2図





255

こだけ いいこくもの こうご



THIS PAGE BLANK (USPTO)